

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：のと共栄信用金庫

活動地域：石川県七尾市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

「市民と共に歩む七尾版ローカルSDGsプロジェクト」

活動団体紹介

七尾市における産学官金連携SDGs・ESG推進のための
七尾SDGsコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」

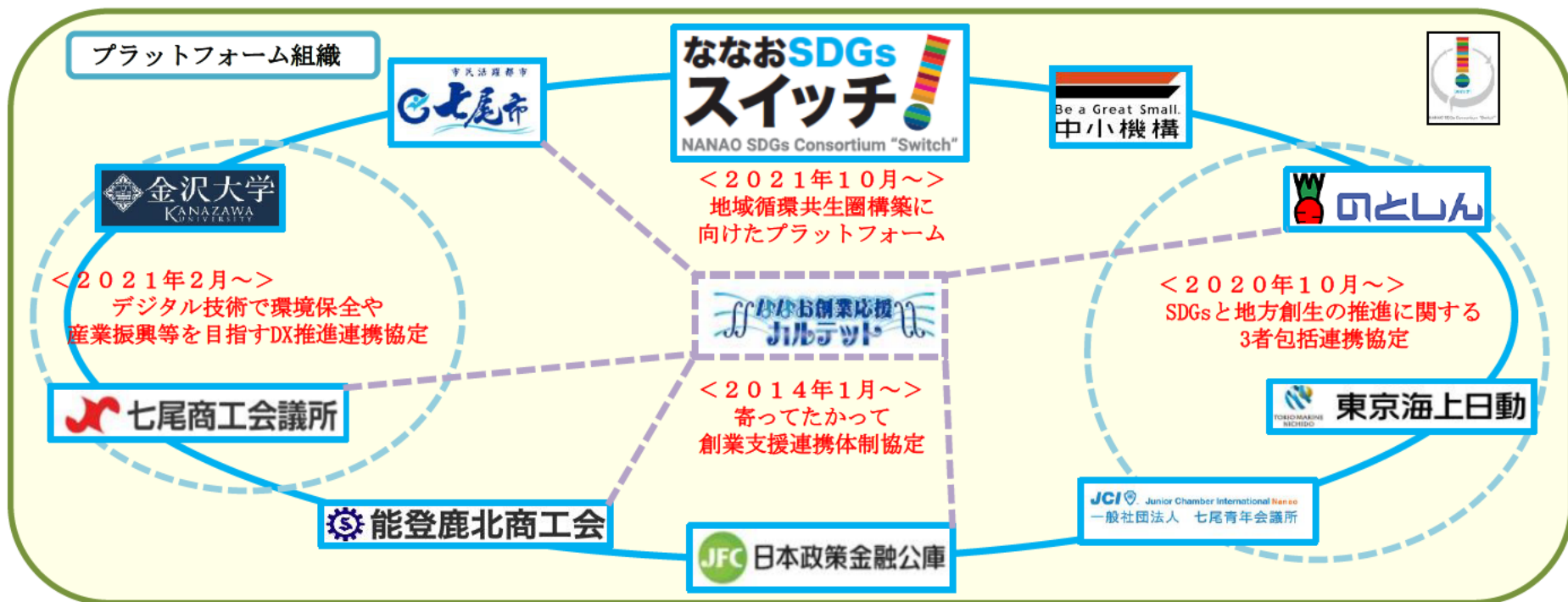
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



産学官金9組織連携チームを2021年10月に設立！！



＜七尾市大呑地区から望む富山湾と立山連峰＞



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

【経済界メンバー中心で当初設定したビジョン】

『企業が将来に渡り継続し、より発展していくSDGs推進企業が生まれ育つ街』

【2022年度 新ビジョン策定決定】

地域全体での未来ビジョン策定へ！

2023年2月申請検討中

＜内閣府「SDGs未来都市」認定制度申請＞

未 経済面・社会面・環境面アプローチを踏まえた内容による「SDGs未来都市・モデル事業認定制度」への申請を実施
(SDGs推進都市として対内外に情報発信 → 七尾市内におけるローカルSDGs推進の更なる活性化に繋げるもの)

企業が将来に渡り継続し、より発展していくSDGs推進企業が生まれ育つ土壌を創る
検討中 七尾版「企業のSDGs宣言登録認証制度」の構築・運用

- ・地域課題・資源を活用した新商品の開発・販売事業
- ・ふるさと納税制度との連携支援
- ・地域おこし協力隊制度×SDGs×創業支援事業

東京海上日動
・中小・小規模事業者 市民向けSDGs普及啓発事業

【2021年10月18日開始】
・中小・小規模事業者向けSDGsよろず相談窓口の開設
・セブエ企業及び団体のSDGs推進向け金融商品開発・販売

【既存】
・日本政策金融公庫
・ソーシャルビジネス支援資金融資制度

卒業後の支援策

- ・電子地域通貨制度の検討・実施・流通促進事業
- ・地元消費者による地元産品促進事業
- ・関係・交流人口による人・モノ・金・情報・情報向上施策
- ・ふるさと納税制度やECサイトとの連携の検討
- ・納税や入札制度等の電子通達支払対応整備の検討

七尾商工会議所 能登鹿北商工会
・従来のワンストップ創業支援事業
・セブエ企業へのワンストップ創業支援事業
・セブエ企業及び団体のSDGs推進支援事業
・販売促進特化型支援事業

【2021年9月13日開始】
・専門家対応「SDGs相談窓口」の創設事業

経済面アプローチ

地域のあらゆる主体が参画して創る
未「地域未来ビジョン」策定

【2022年1月開始】

2022年5月
・「ななををつく」未来ビジョンフォーラム開催
⇒地方創生とSDGs未来都市について知る
⇒恒例を踏まえたコミュニティの発展する方を知る
⇒七尾市の過去の地域ビジョンとその実現を知る

2022年6月～8月(月1回予定)
・地域未来ビジョン検討ワークショップの開催
⇒市民みんなで先行事例や総合戦略などを勉強し、
採択可能な七尾市のビジョンを提示する

2022年10月
・地域未来ビジョン発表フォーラムの開催
⇒あらゆる主体で策定したビジョンを地域全体に
届出し、地域共通のビジョンとする

社会面アプローチ

世界農業遺産(GIAHS)を利用保全
未「能登の里山里海」

七尾商工会議所
・七尾市ブルーカーボン(炭素削減)プロジェクト
⇒全国第3位の面積を誇る農場の減少を食い止め、
CO2削減に貢献に取り組む

七尾商工会議所 金沢大学
・のと里山里海DXプロジェクト
⇒コミュニティ番号館を活用して里山里海の価値を
見える化し、里山里海への貢献を顕在化と分配の
制度を構築

のととしん 金沢大学
・自然の恵み生成プロジェクトと表・裏の活用
・シンガポール・リサーチ機関によるプロジェクト支援

環境面アプローチ

能登SDGs
市民大学
Noto SDGs Citizen College

【能動的な市民輩出装置】～Noto SDGs Citizen College～「能登SDGs市民大学」新設
市民のためのSDGsの理解とベックプライ、社会・地域課題解決や持続的な経営を組み合わせた六方良し創業・新プロジェクトに役立つ学びの場

第1期生は190名！
修了生は150名以上！

地域ニーズ発見！

＜講義別カリキュラムテーマ＞

- 1 地方創生とSDGs 2 SDGs概論 3 ローカルSDGs(地域循環共生圏)
- 4 ダイバーシティ・インクルージョン 5 SDGsとのと里山里海DXプロジェクト
- 6 能登エリアの地域課題と魅力的な地域資源 7 SDGsで起こす経営・事業イノベーション

＜事業概要＞

・開校期：【第1期】2021年10月～2022年3月(月1回 原則18:00～20:30)

・参加対象者：市民をはじめとするあらゆる主体(七尾市とその周辺地域に所在を置く、または七尾市とその周辺地域に縁、関心のある高校生以上の事業者、
創業希望者、地域住民、公務員、民間企業や団体組織にお勤めの方、学生等)

・講師陣：東京海上日動火災保険(株)、国大いしかわかなざわオペレーティング・ユニオ、環境省・EPO中部、(株)クレアム、
(大)金沢大学、七尾市役所、(一社)石川県中小企業診断士会

＜地域課題＞

主体性を持つ市民
プレイヤー輩出に
まだ至ってはいない。
より効果的な施策展
開が必要。

地域・市民・事業者

のととしん 東京海上日動
・「地域向けSDGs推進プロジェクトの実施」
・SDGsカードゲームを使用したセミナー実施
・SDGsに基づく定期的なSDGsプロジェクトの推進
・その他市民のシビタプライトの醸成に資する事業

地域住民(創業希望者)

七尾商工会議所 能登鹿北商工会
・「事業者・市民向けSDGs意識アンケート調査の実施」
・事業者向け事業者向けSDGs・ESG意識調査事業
・市民向け事業者向けSDGs・ESG意識調査事業

事業者

金沢大学 日本政策金融公庫
・「市内小中学校でのSDGs出前授業の実施」
・市内小中学校でのSDGs出前授業の実施
・市内小中学校でのSDGs出前授業の実施
・市内小中学校でのSDGs出前授業の実施

地域全体

七尾商工会議所 金沢大学
・「七尾市フィールドへの学生誘致」
・地域課題を踏まえた大学生へのアウトリーチ・養成研修
・学生対象による地域有志活動の活性化プロジェクト実施

市内小中高生

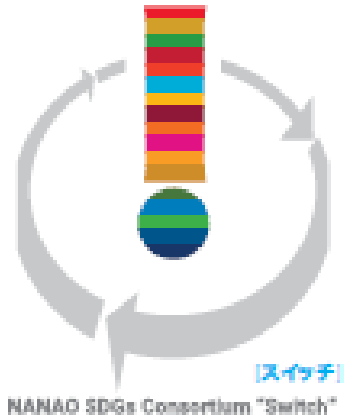
地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

I. 七尾市におけるローカルSDGsを強力に推し進める！

産官学金9組織によるローカルSDGs地域プラットフォーム「ななおSDGsスイッチ」の設立

2021年10月設立！

**ななおSDGs
スイッチ**
NANAO SDGs Consortium "Switch"



<参画組織メンバー>

七尾市、国立大学法人金沢大学、能登鹿北商工会、七尾商工会議所、のと共栄信用金庫、株式会社日本政策金融公庫金沢支店、独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部、東京海上日動火災保険株式会社、公益社団法人七尾青年会議所

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

Ⅱ. 市民や事業者がSDGsやこの地域をどう思っているかのホンネを知る！ 市民対象・事業者対象の大規模SDGs意識調査アンケートの実施



七尾 中能登
NANAO NAKANOTO

私たちの地域の未来
【アンケート】として考えてみましょう！

2021年7月31日(土)～8月15日(日)

住民アンケート

2021.7.31(土)～8.15(日)

＜読者資料＞ 令和7月号

「七尾と会社を元気にできるSDGs」アンケート

【はじめに】

SDGs（エスディージーエス、持続可能な開発目標）をご存知ですか？
これは2015年に世界全体が2030年に向けて取り決めた目標・経済・社会についての目標です。
このSDGsは、政府や自治体だけでなく、民間企業においても取り組むべき目標として定まっています。
環境保護や社会や地域の課題解決を通じて、環境保護や社会や地域の課題解決に貢献して
いないと認められない、そんな時代が来ようとしています。
本調査では、七尾市の事業者の皆様のSDGsに対する認知度や取り組みの現状を把握するとともに、
最良の取り組みや課題とニーズを踏まえた支援施策を今後検討させていただくため、ご協力をお願いいたします。
お手を合わせさせていただきますが、お忙しい中ご協力くださると幸いです。

【調査対象「SDGs」とは？】



＜読者資料＞

兵衛、紛争、気候変動、感染症と、人類はこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。
このままでは、人類が定住してこの世界で暮らすことが難しくなることを心配されています。
そのような状況から、世界中のさまざまな立場の国々が集まり、課題を整理し、解決策
を話し、具体的な目標として立てたのが「SDGs（持続可能な開発目標）」です。
「持続可能な開発」とは、何かを壊さずに行うことです。SDGsは、私たちに求め、ひとつし
かないことに取り組むべき世界「持続可能な開発」を達成するための目標や価値観をまとめた
ものであり、「誰一人取り残さない」というルールに基づいたものです。このSDGsは、環境・社会・
経済のつながりや、地域が抱える課題を解決して持続可能な社会を実現していくことが必要とされて
います。
七尾市でも、人口減少や少子高齢化による課題や格差の解消、空き家問題や産業振興など、
様々な課題に直面しています。このSDGsの考え方を基盤として、それぞれのあり方を考える
こと、持続可能な七尾市の実現を促す「地域でのSDGs」に取り組んでいく必要があります。

＜これまで＞

地域に対する想いやSDGsについての意識調査は、大々的には行われておらず、事業根拠となるエビデンスが七尾市にはない状況であった。

「一部の組織や人間だけで進めているコト」という他人事マインドから、「地域のコトはジブンゴト」と、地域全体での動きにするための現状把握が必要不可欠であった。

2021年(令和3年)10月17日(日) (第18)

七尾市中能登町住民に「JC」などがアンケート

持続可能な開発目標 知っていますか

SDGs（エスディージーエス、持続可能な開発目標）をご存知ですか？
これは2015年に世界全体が2030年に向けて取り決めた目標・経済・社会についての目標です。
このSDGsは、政府や自治体だけでなく、民間企業においても取り組むべき目標として定まっています。
環境保護や社会や地域の課題解決を通じて、環境保護や社会や地域の課題解決に貢献して
いないと認められない、そんな時代が来ようとしています。
本調査では、七尾市の事業者の皆様のSDGsに対する認知度や取り組みの現状を把握するとともに、
最良の取り組みや課題とニーズを踏まえた支援施策を今後検討させていただくため、ご協力をお願いいたします。
お手を合わせさせていただきますが、お忙しい中ご協力くださると幸いです。

【調査対象「SDGs」とは？】



＜読者資料＞

兵衛、紛争、気候変動、感染症と、人類はこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。
このままでは、人類が定住してこの世界で暮らすことが難しくなることを心配されています。
そのような状況から、世界中のさまざまな立場の国々が集まり、課題を整理し、解決策
を話し、具体的な目標として立てたのが「SDGs（持続可能な開発目標）」です。
「持続可能な開発」とは、何かを壊さずに行うことです。SDGsは、私たちに求め、ひとつし
かないことに取り組むべき世界「持続可能な開発」を達成するための目標や価値観をまとめた
ものであり、「誰一人取り残さない」というルールに基づいたものです。このSDGsは、環境・社会・
経済のつながりや、地域が抱える課題を解決して持続可能な社会を実現していくことが必要とされて
います。
七尾市でも、人口減少や少子高齢化による課題や格差の解消、空き家問題や産業振興など、
様々な課題に直面しています。このSDGsの考え方を基盤として、それぞれのあり方を考える
こと、持続可能な七尾市の実現を促す「地域でのSDGs」に取り組んでいく必要があります。

北陸中日新聞2021年10月17日掲載

＜アンケート結果＞

エビデンス収集に留まらず、メディアによる大々的な報道で地域全体に現状周知が行え、結果に対する反響も大きい事業となった。

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

Ⅲ. 七尾市内の教育現場(小・中・高)でのSDGsやソーシャルビジネスに関する出前授業！ 参画メンバー(日本政策金融公庫・JCI七尾)主催による連携プロジェクト



＜事業概要＞

学校で学んでいるSDGsと地域を結び付けて考えて貰えるよう積極的に教育現場で授業を実施。
地元を離れても地域を想い何か自分に出来ることはないか？と考えられる人財への後押しを実施。

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

Ⅳ. 市民・事業者・推進メンバー全員がSDGsと地域の現状を一緒に学ぶ機会を創る！ あらゆる主体が受講できる『能登SDGs市民大学』の開講



SDGs 令和3年10月開講
※開講の日は各機関のホームページに掲載されます。入場料・受講料は無料です。

会場：能登市庁舎
受講料：300円
オンライン受講：100円

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国が一致して採択された国際目標です。2030年までに、持続可能な未来に向けた世界を築くという、道徳的責任を担っています。

SDGsは、17の目標と169のターゲットで構成されています。そして、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」を重要な理念として掲げ、SDGsは全人類に共通の目標であり、市民・事業者・行政が共に取り組むべき「多様な主体」による取り組みです。また、SDGsの目標は、次世代に引き継いでいくべきものであり、持続可能な未来を築くために必要不可欠な取り組みです。

能登SDGs市民大学は、SDGsの理解とシビックプライド、社会・地域課題解決や持続的な経営を組み合わせるための学びの場として開講します。大学で得た学びやノウハウを経営や地域活動に活かしていただくことが、本学開校の目的と趣意です。

能登SDGs市民大学
能登市庁舎内・4階
〒938-8501 能登市 能登町 能登 1-1-1
TEL: 0767-34-8888 FAX: 0767-34-8811

第一開講生を募集します！
～ 市民・事業者・行政が共に学ぶ機会を創ります！～



<事業概要>～市長を塾長として2021年10月に開講(半年間の長丁場)～
能動的市民がドンドン生まれてくる装置として、SDGsの理解とシビックプライド、社会・地域課題解決や持続的な経営を組み合わせる六方良し経営・創業・新プロジェクト立上げに役立つ学びの場として開講。

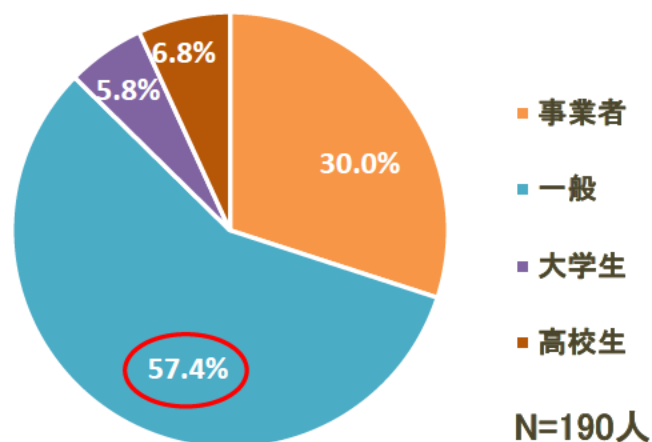
<実施結果>

- ・50名ほどの参加で大成功と思っていたら**190名**の応募と大反響！10代～70代まで幅広い層が受講中。
- ・190名中150名を超える受講生が修了予定。既に第2期開催を希望する声を多数頂いている状況。

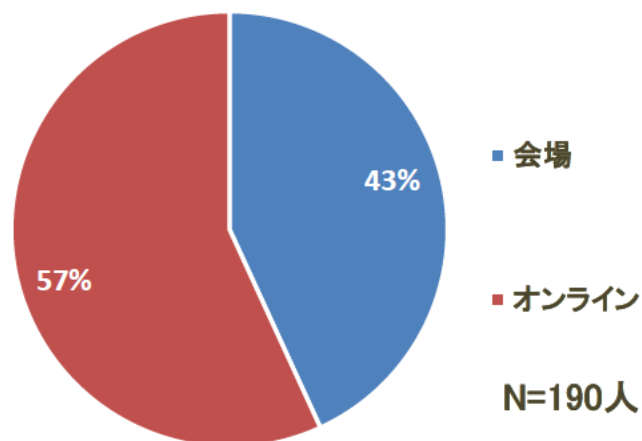
地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

『能登SDGs市民大学』の受講者属性

第1期受講生の属性



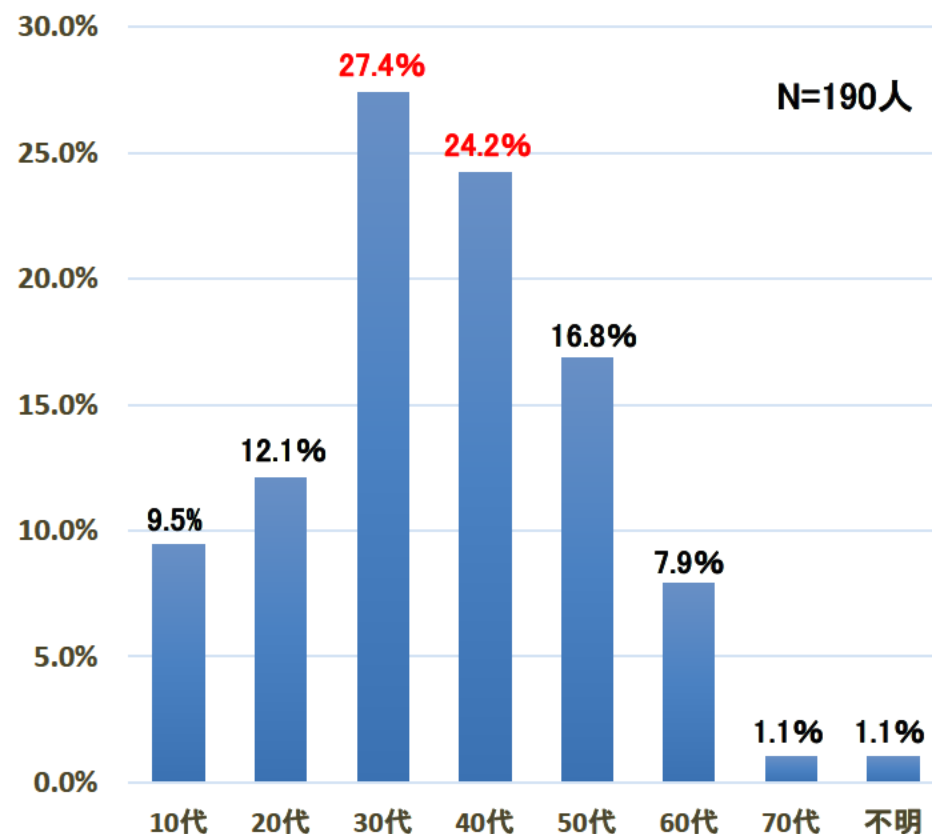
第1期受講生の受講形態比



※コロナ禍における会場定員設定あり

年齢別に見た第1期受講生の参加割合

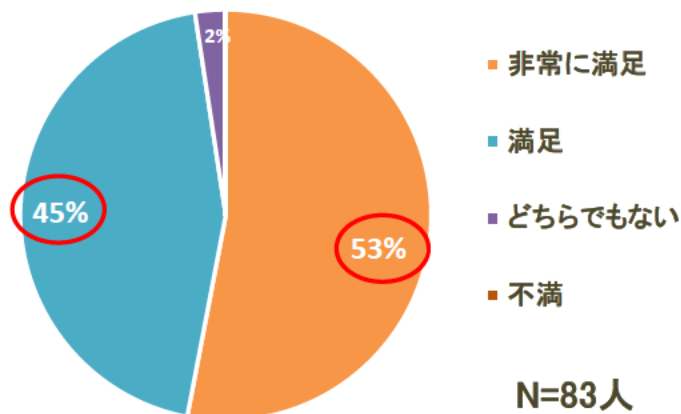
30～40代が全体の**50%以上**を占めている



地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

『能登SDGs市民大学』の受講者アンケート結果①

「能登SDGs市民大学」の受講満足度



受講生の**98%**が「能登SDGs市民大学」を
受講して良かったと回答！

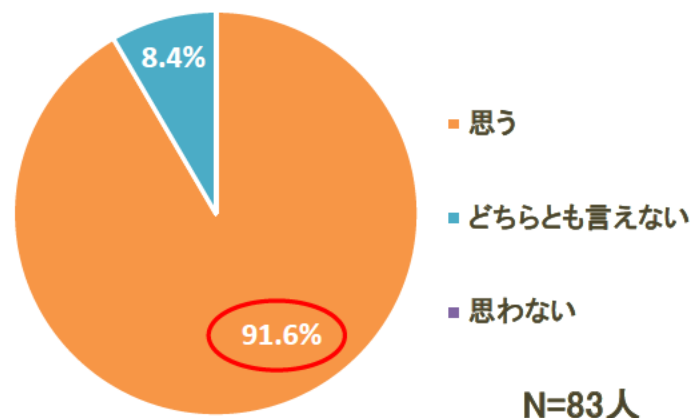
受講満足度に対する理由(一部抜粋)

- 地元でSDGsの勉強ができて有り難かったです。
- ただ何となくだったSDGsをジブンゴトとして学ぶ機会を与えていただきました。
- 多くの方を巻き込むことで、新たな取り組みを始める契機になっていると思います。
- SDGsって何なの？キーワードだけ知ってても、中身はあんまりよく分かってない自分にとって凄く学びの深い場でした。欲を言えば、横の繋がりを作りたかったので、名刺交換タイムのようなものか、自由参加型の2次会とかあれば最高でした。
- これから仕事だけではなく、一人の人間としてどのように生きるのか、考えて毎日大切にしたいです。
- 普段、関わることのないような人達と学び、交流もはかれた事で一体感のような勇気がもらえました。
- 様々な視点から講義を受けることができ、SDGsが今まで以上に身近に感じるようになった。
- 仕事場の業種を超えて幅広いお話が聞け知識が拡がりました。
- たくさんの実践例や本質について、知ることができました。
- 色んな講師の方の話を聞く事が出来て、すごく良い機会でした。リモート環境が不安でグループワークの参加は断念しましたが、やっぱり参加したかったなと後悔しています。

地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

『能登SDGs市民大学』の受講者アンケート結果②

第2期開催時も受講したいと思うか？



受講生の**91%**が「能登SDGs市民大学」を
また受講したいと回答！



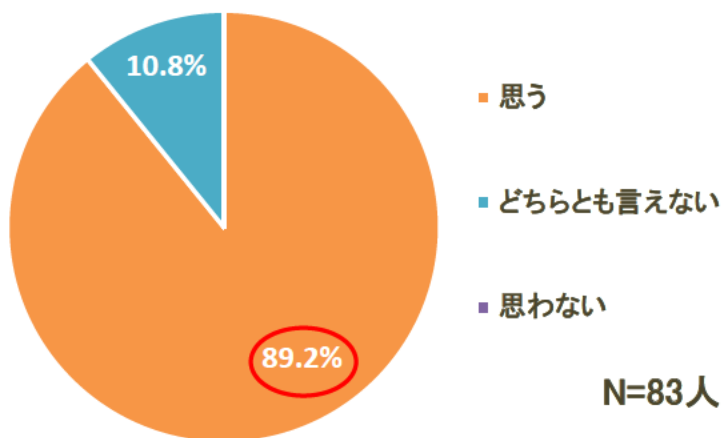
次回も受講したい理由(一部抜粋)

- 同じ思いの生徒でコミュニティを作っていけたら大きな動きに繋がると思うから。
- リアルでの参加ができていないので、こういった講習会を共に受け会話をすることで、地域内でつながることが可能になると思うから。
- 第1期を受講して、SDGsが身近に感じられるようになったが、まだまだ理解度は不十分。より理解し、いつの日か自身が本市民大学のような講義の講師として活躍できるくらいに理解していきたいと感じたから。
- 色々な情報を取り入れ、より知見や学びを多角的に深めていきたいと思うから。
- 仕事の関係で必要と考えているから。
- バージョンアップして是非継続させていって下さい。卒研ではありませんが、本当に考える集まりが出来たら良いと思っています。
- 七尾のSDGsに微力ながらも参加したいから。
- 能登を元気にするお手伝いがしたいから。ステキな地元を後世に残したいから。
- 同じ課題を別の見解で見ている方もいるのかなー？と考えることがあるので色々な方のお話を聞いてみたいと思うから。
- SDGsってよく聞けど何なんだろう？という疑問から参加しました。参加してみて色々な方々の仕事や取組みの話を聞くことで、改めて自分自身が働く事について見つめ直す事もでき、刺激になるととても良い半年間であったから。

地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

『能登SDGs市民大学』の受講者アンケート結果③

第2期開催時に周囲に薦めたいと思うか？ **この市民大学を周囲におススメしたい理由（一部抜粋）**



受講生の約**90%**が「能登SDGs市民大学」を受講を周囲にオススメしたいと回答！



○子育て世代をより巻き込みたいと思うから。

○”共感”者の拡大は大いに大事だと思うから、共感者が増えていって欲しいから。

○七尾の未来の為に必要だと思うから。

○地域のことを全員が考えられる七尾市にしたいと思うから。

○未来を考えていきたいと考える熱意ある人と繋がっていききたいと思うから。

○多くの人に知って頂き、仲間になりなりたいと思うから。

○沢山の人が知るべき内容と思うから。

○共通の話題で地域の事などを話し合えるから。

○もっと難しい話ばかりかと思っていましたが、気軽に参加でき、思っていたほど難しい話ばかりではなかったの、多くの方々に「気軽に」参加してもらいたいと感じたから。

○自ら必要性や興味が無ければ未来につながらないから。

○今後の会社経営、地域で暮らす人には必要な体験と知識だと思うから。

○このような企画は他にはないから。

○私が受講して良いと思ったからです！

地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

『能登SDGs市民大学』受講終了後の受講者取り組み宣言（一部抜粋）

- 能登地方出身の若者をどんどん巻き込んで面白い取り組みをやっていききたいと思います！
- 能登の伝統ある暮らしや料理は都会や海外では価値の高いものだと思う！この付加価値をビジネスに転換し、外貨を獲得するためのお手伝いがしたい！
- 地産地消を能登全域でしっかり取り組めるようになると、豊富な能登の食に魅力を感じる都会の方や子育て世代が来てみたい住んでみたいと思われると思う。美味しいものを旬の季節に美味しく残さず最後まで楽しむことは重要だと考える。まだ地元でも当たり前になっている食材をしっかりと掘り起こしてわかりやすさを伝えていけるようにしていきたい！食はとても大切なコンテンツだと思う！
- 自然を活かし、保護していく取り組みをしてみたい！
- 七尾の魅力をただ知るだけでなく積極的に発信していくことや、学校教育との連携なども図っていききたい！未来のために小さな一歩からでも踏み出したい！
- 『世界農業遺産の地を引き継ぎ、守り、そして発展させる！』農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地率の増加など、世界農業遺産に選定されているにも関わらず、深刻な課題を抱えている現状。しかし、世界から認められた地域である以上、次の世代にもこの景観と文化、農林水産業を残していくために、単なる「農業従事者」から脱却して活動していく！
- ビジネスのSDGsを活用し和倉温泉の宿泊客を100万人に戻す！
- 和倉温泉シェアシャトルバスの実現。各旅館のバス、車の送迎により二酸化炭素排出量の増加に加え人、車の手配に負担がかかっている現状を打破するため、周遊型シェアシャトルバスを作り、地域のパートナーシップやお年寄りにも寄り添うまちづくりに取り組みたい！
- 七尾の地域の皆さまが、より健康的で豊かなライフスタイルを充実してもらう為に、自然ベースの大人のアスレチックが出来るような施設を作りたい！またトレーニング×コワーキングスペースのような、敷居の高いジム等ではなく、いつでもふらっと利用してもらえるような健康施設を運営してみたい！
- 「ジェンダーの平等を実現しよう」を今年度は事業化します！
- 能登の観光客増加、さらなる魅力を発信するために、能登の海の景観を守りたい！廃棄物を撤去し、昔ながらの漁師町の街並みを残したい！素晴らしい祭りが幾つもあるため、全国区に周知させたい！

地域のありたい未来の実現のために **今年度取り組んだこと**

V. SDGsを事業経営やプロジェクトへ落とし込み中身ある取組みへ！

参画する経営支援機関によるSDGs経営セミナーの実施とSDGs相談窓口の開設

中小企業のための SDGs相談窓口(七尾)

SDGsに精通するアドバイザーが、
中小企業の皆様の課題に**対面・電話・WEB**で対応します。
お気軽にご相談下さい。

【相談例】

- * SDGsをどうビジネスに生かしたらよいか。
- * SDGsに取り組むとどんなメリットがあるのか。
- * SDGsを商品開発や販路拡大につなげたい。
- * 自社の事業ではどのSDGsターゲットに当てはまるか。
- * SDGsで社内人材の育成、モチベーション向上にどうつなげるか。

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された17のゴール、169のターゲットで構成された世界共通の目標です。中小機構はSDGsの考えを推進し、中小企業・小規模事業者のSDGsの理解促進と推進に向けた事業活動への支援を通じてSDGsの達成に貢献してまいります。

お申し込み方法

お申し込みは、お電話か

【連絡先】 七尾商工会館SDGsプロジェクト推進室 Tel: 0767-54-8888
 松島産北農工会 田嶋陽子 Tel: 0767-68-2253
 との共栄信用金庫 くるまと創生室 Tel: 0767-52-3450

お申し込みは、お電話か

ひとしん SDGsよろず相談会

無料

SDGとは

SDGとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」で、17のゴールと169のターゲットで構成される世界全体の目標です。

当事業は、企業がSDGsの達成に向けた社会課題に取り組みることにより、新サービスや商品との関係、新たな販路の開拓、人材育成、取引先からの信頼の獲得など企業の価値向上と競争力の強化につながることをできると考え、支援いたします。

申込みのながれ

▶▶ 1 事例に申込み提出

相談申込書にご記入のうえ提出ください。その際、相談の日時をお知らせください。ご予約ください。

▶▶ 2 相談会の実施

企業担当が、企業課題と連携し、お客様のあったSDGsの達成と事業課題について一緒に考えていきます。

▶▶ 3 アフターフォロー

明確になったお客様のSDGs対策案に、ご質問によるご確認などに対応させていただきます。

SDGsの17のゴール

SDGsに取組む効果・メリット

- ビジネスチャンスの拡大（新たな事業の創出・既存事業の拡大）
- 企業イメージの向上（PR効果）
- CSR（社会課題に対する企業責任）
- リソース効果
- 人材との差別化・就業力の向上

言いくばくなく
取組みを！

次回開催予定は 月 日

会場は 支店です

お問い合わせ先

ひとしん信用金庫

TEL

ひとしん



SDGs
for 2030
in NANO

環境省地域循環共生圏（パートナーシップ）基礎施設フォーラムin福岡

地域循環共生圏づくりはローカルSDGsの実践です

開催日時：2022年2月23日（水・祝）13:30～15:45

参加方法：事前申込制、参加無料

①会場：福岡会場 七尾川工業団地 工芸会館13・大ホール
②オンライン視聴 YouTubeライブ配信を視聴ください

①会場参加（定員あり）
②YouTube視聴

③どちらかの事前 申込フォーム
④どちらかの申込み はこちらより




③ www.eppo-jp.go.jp
④ <https://www.youtube.com/watch?v=9333333333>
⑤ <https://www.youtube.com/watch?v=9333333333>

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰



日本国政府
経済産業省
中小企業庁



日本国政府
経済産業省
中小企業庁

持続可能な企業を目指して！

ななお SDGs 経営セミナー

～ 今後必要な「SDGs経営」とは ～

参加費
無料

定員
80名

オンライン
イベント
ビジネス
セミナー

開催
日時

10/20水

14:00-16:00

会場

Web・来場のパブリッド開催

【Web】Zoom モーティング
【来場】七尾地区会館 2 階
大ホール（七尾市三馬町 70-1）

対象者

- ・地域経済振興活動の事業（ソーシャルビジネス）の創業者・お客の方
- ・SDGs・ESG 経営やソーシャルビジネスに取組もうとする事業者の方
- ・SDGsやソーシャルビジネスに興味関心のある事業者や一般の方 など

第1部 (60分)

基調講演「今後必要となるゼブラ企業 ～持続可能な企業の「SDGs経営」とは？～」
 講師 田原 隆吉氏（株式会社 Zebras と企業 共同創業者 / 代表取締役）
 講演内容 日本企業に注目してはじめてゼブラという SDGs 経営を行うためのポイントについてお話しします。



第2部 (40分)

「SDGs経営の導入方法について」
 講師 打田 英史氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 北陸本部 企業支援課長）
 SDGs 経営導入の考え方、取組む方法などをご紹介します。
 講師 氏家 史史氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 北陸本部 企業支援課長主任）
 SDGs 支援制度をご紹介します。



第3部 (30分)

「ななお SDGs ソーシャルアンプラグについて」
 入江 裕希氏（七尾地区会館 SDGs プロジェクト推進員 直務）



主催：ななお事業推進センター（ななおソーシャルビジネスサポート・ねっと）
 【事務局】七尾地区会館 事務局（ななお、SDGs 推進員、日本企業基盤整備機構、七尾市）

後援：ななお事業推進センター、ななおソーシャルビジネスサポート・ねっと

<事業概要>

域内での『能登SDGs市民大学』の取り組みや、メディア等による域外での取り組みの盛り上がりに触れ、SDGsに関する経営相談や学習ニーズが増加すると見込まれたことから、先んじてその受け皿となる支援メニューを調整し運用を開始。

「売り手よし、買い手よし、世間よし」に「作り手よし、地球よし、未来よし」を加えた『六方よし経営』を参考に、自社の事業や経営でSDGsを推進したいけど何からすればいい？という相談から、更なる追及のお役に立つインプットセミナーを開催。

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

VI. 七尾市で動き始めたSDGsプロジェクトを域内外へ情報発信！

参画メンバー(東京海上日動・JCI七尾)主催による各種SDGsイベント出展



<事業概要>

地域内外に向けて
七尾市で取組む活
動内容について情
報を発信。

七尾市への注目度
アップとシビックプ
ライドの醸成を目的に
活動を実施。



取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

I. 地域の市民における反応と変化(発見)

- ・運営側の想像以上に地域への愛着や危機感を持つ市民が潜在的に存在する。
⇒だけど、堅苦しい小難しい施策や取り組みでは関心がもたれず他人事のフリをしてしまう。
- ・掲げる看板や内容、広報に面白さや取っつきやすさがあれば、市民はジブンゴト化できる。
⇒約200名の能動的市民が表面化。主体的に自分で行動を起こそうとし始めている。

II. ステークホルダーやコアメンバー等の関係者における変化

- ・「エスディジーエス」と言っていた人が、「エスディジーズ」と言えるようになった。
- ・本業の枠のみでの関係から、本業を超えた参画マインドに変化してきたメンバーが出現。
- ・各参画組織内から地域に対する想いを真剣に語り合え、協力参画する新たな人財が出現。
⇒他方、本業以上をしたくないメンバーは影を潜めるようにもなった。(去る者追わず)
⇒各参画組織内における取組周知やその重要性に関する理解醸成も必要不可欠。
- ・本事業に対して、市役所原課の職員さんが少しずつ理解してくれるようになってきている。

III. 地域における取組の輪の拡がり

- ・運営に携わる参画組織以外の企業様より、事業や取組における連携、新プロジェクトの立上げオファーを頂くようになった。
- ・地域で活動している多くの団体や組織が、「持続可能な～」「SDGs」などの単語を頻繁に使うようになってきており、身近な単語になりつつある。
⇒次のステージは「私はこんな取組みを実践しています」「エシカル消費を心がけてます」などの会話が飛び交う状況にまで引き上げる。(認知⇒ジブンゴト化⇒アクション化)

取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

I. 取組みを通して感じたボトルネック(事務局を担う人間の悩み)

- ・組織幹事が経営支援機関である意識が非常に強くあり、持続可能な地域を実現するための各論プロジェクトは、この地で生活する市民や事業者が主体的に取組むものであり、我々はその土壌づくりとアクションを全力サポートする存在というジレンマがある。
- ⇒このまま地域の「ローカルSDGs推進サポート役(装置)」として突き進む。

II. プラットフォーム業務を本業として取組める担い手の不足

- ・専属で本事業に取組める参画組織メンバーがほとんどいない。人口減少や少子高齢化による経済縮小、そして新型コロナウイルス感染症の流行が拍車をかけ、各々の組織も余裕がある訳ではない。そのため本事業に割ける人財や時間、予算が限られている。参加できる人数ではなく、主体的に参画するマインドを持った仲間の数である。
- ⇒参画組織の本業にも直結する仕組みづくりを整備し、運営側も本業(ジブンゴト)としての関与を創出する。

II. 新たに見えてきた課題

- ・これだけ多くの地域の市民が顕在化したものの、ジブンゴトアクションとしてどれだけの市民が行動するか不安があり、**市民向けの取組評価制度や相談サポートの検討が必要**である。
- ・今後増えてくると考えられる企業の取組みを街全体として適切に評価し、より**多くの企業が取組みたくなる制度設計**を検討する必要がある。
- ・本事業の反響が経済界に留まらず地域全体にインパクトを与えたことから、経済界中心の参画メンバーで掲げたビジョンを、**あらゆる主体が関与したビジョンを新たに策定し、街全体での共通ビジョンを掲げる**必要がある。

今後の展望

課題克服を目指して！2022年度に新たに実施を検討しているメイン事業

2023年に「SDGs未来都市」認定を街全体で目指す！

「SDGsを活かした七尾の未来って、どんなだろう」 ななおをつなぐ 未来ビジョンフォーラム

日時:2022年5月8日(日)13:00~16:40
会場:フォーラム七尾多目的ホール/定員:150人
(七尾市保健館1階 電話:0917-747/ 無料駐車場あり)

■開催プログラム / 行本 議 分 別 費 用 無 料

1. 開会 9:00
2. 趣意説明 七尾市とSDGs未来都市の推進 9:10
3. ご挨拶 七尾市長 9:20
4. 登壇者・パネリスト・グラフィアコーディネーターの紹介 9:30
5. 講演1「地方創生とSDGs未来都市」 9:40
6. 休憩 9:50
7. 講演2「みななから学ぶ「セクター」を越えたコミュニティの力」 10:00
8. 講演3「七尾マリンシティ構想の現状と地域ビジョンの重要性」 10:10
9. 休憩 10:20
10. パネルディスカッション「地域ビジョンとSDGs未来都市」 10:30
11. 質疑応答 10:40
12. まとめ・決意表明 10:50
13. 地域ビジョンづくりに関するご案内 11:00
14. 写真撮影 11:10
15. 閉会 11:20

【会場での参加のお願い】

- ・会場内はマスクの着用を推奨しております。
- ・会場内は、飲食禁止です。ご自身の持ち物でのご参加をお願いします。
- ・SDGs未来都市の推進に関するお問い合わせは、SDGs未来都市推進事務局まで。

JCI Junior Chamber International Nanto
一般社団法人 七尾青年会議所

〒934-1402 七尾市七尾二丁目70-1 TEL: 0917-43-2621
FAX: 0917-43-2622 E-MAIL: jci@jci-nanto.jp

I. 地域の未来ビジョンをみんなで創る！

・経済界に留まらず、あらゆる主体が地域のことをジブンゴトとして、『こんな七尾を次の世代に残したい！』というビジョンを、皆で学び研究しながら、創り上げる事業

II. 頑張る企業が評価される制度を創る！

・内閣府地方創生推進事務局が提示している『地方創生SDGs登録・認証等制度』を活用し、真剣に取り組む企業の取組みを七尾オリジナルの形でしっかりと評価し、より多くの企業の取組みを創出・企業の七尾への移転促進に繋がる事業

III. 参画組織の本業との関連濃度を上げる！

・IIの制度を評価指標にすることによって、地方創生に取り組む企業が取り組むプロジェクトに対する金融支援をよってたかって行えるパッケージづくりを実施する事業



内閣府地方創生推進事務局資料抜粋



内閣府地方創生推進事務局資料抜粋

現在実施に向けて調整中